

第6学年国語科学習指導案

日 時 平成18年9月15日(金)5校時
児 童 男子5名 女子7名 計12名
指導者 似内 慎

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう(光村6年下)

教材名「平和のとりでを築く」

「自分の考えを発信しよう」

2 単元について

(1)教材について

本単元は「筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつこと」をねらいとしている。

「平和のとりでを築く」は戦争で広島に原子爆弾が投下され、傷だらけになった原爆ドームが、多くの人々の平和を願う心によって世界遺産となった経緯を述べた説明文である。本教材は「話題提示 - 説明 - まとめ」という大きく3つのまとまりで構成されている。「話題提示」では、原爆ドームの存在と筆者の思いを紹介し、「説明」では、「日本の遺産として原爆ドームがたどってきた歴史」と「世界遺産となった原爆ドーム」の2つに分けて説明している。「まとめ」では、原爆ドームが世界の人々にとって平和を訴える大切な遺産であることが述べられ、最後に平和を願う筆者の強い思いの文で締めくくられている。文章は簡潔で分かりやすく、史実も編年体で説明されていて、文と文・段落と段落の関係も比較的とらえやすい教材である。この説明文は原爆ドームの話題から世界の平和を強く願う筆者の思いが、題名やまとめに凝縮されており、未来を担う一員である6年生の子どもたちに、世界に目を向けさせ、「平和」について自分なりに考えさせることができる教材であると考えられる。

「自分の考えを発信しよう」では「平和のとりでを築く」の学習を生かし、「平和」というテーマに関わる多彩な材料を集めたり、自分の考えを発信していったりする学習に取り組む。児童は年齢的に徐々に社会で起こる事件や歴史のことにも関心を向け始める時期にきており、問題意識をもって学習を進めることができる教材であると考えられる。

(2)児童について

児童は、6年生になってからこれまでに、「生き物はつながりの中に」で、文章に即して段落ごとに要点をとらえたり、重要語句を見つけ、中心文を並び替えたりしながら説明文全体の文章構成を読み取る学習をしてきた。また、筆者の考えを読み取り、読者に対する問いかけの文から自分はどう思うかといった自分の考えをもつ学習もしてきている。これらの学習を通して、子どもたちは、説明文全体の構成の特徴を読み取ったり、筆者の伝えたいことは何なのかを自分なりに考えたりすることができるようになってきている。しかし、筆者が訴えたいことを読み取り、自分なりに意見をまとめることについては個人差が大きく、自分の考えをなかなかまとめることができない児童もいる。

自分の考えを発信することについては、5年生の時に総合で調べたことを他の学校の5年生に手紙で発信した経験がある。また、インターネットのホームページ作り、ビデオ編集による学校の

CM 作りなどの方法で自分の調べたことをまとめた経験があり、自分の得意な方法で意欲的に学習を進めることができると思われる。

(3) 指導にあたって

「原爆ドーム」が世界遺産に登録されるまでの経過とそれに関わる人々の思い、筆者の訴えたいことを事実と意見を区別しながら読みとらせる中で、平和についての問題意識を高め、自分の考えをもたせながら学習を進めていきたい。また、自分の考えを伝えるために必要な材料を集める際には、インターネット・書籍・聞き取りなど様々な資料から自分の必要なものを適切に選び、効果的に使うことができるようにしていきたい。

本校の研究に関わって、学級が少人数であることを生かして、個々の考えを全体に発表する場を多く設定し、お互いの意見から自分の考えを深めていける学び合いにしたい。

3 単元の目標

筆者の主張を読み取り、自分の考えを持つ。また、「平和」についてさらに考えを深めるために調べたり話し合ったりし、自分の考えを分かりやすく書いて交流する。

関心・意欲・態度

- ・書かれている事象や筆者の意見・感想に対して自分の考えを明確にしようとしている。

読むこと

- ・書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、平和について自分の考えを明確にしながら読むことができる。(工)

書くこと

- ・自分の考えを深めるために、必要な資料を選び、整理して全体の組み立てを考えて書くことができる。(イウ)

言語事項

- ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。(オ(ア))

4 指導計画と評価規準(13時間)

過程	時	目 標	主な学習活動()と評価規準(・)
つかむ	1	・学習の見通しを持つ。	学習の見通しを持つ ・戦争や平和に関して、ニュース番組で視聴したり新聞で読んだりしたことを進んで発表している (関)
ふかめる	2 ・ 3 ・	・「平和のとりでを築く」を読み、筆者の考えを理解する。	題名と第1段落から読みの課題をもち、全文を通読する。 ・具体的事例について事実や時間の流れを押さえ、正確に読み取っている。 (読) 全文を読み、課題に対する自分の考えをまとめる。 原爆ドームについての事例を読み取りまとめる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えや事例について事実と意見とを区別しながら正確に読み取っている。(読) 	
5 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の伝えたいことを考えながら、「平和のとりでを築く」を丁寧に読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えていることを理解し、自分なりにまとめる。 ・まとめの段落に着目して、叙述を丁寧に読み取っている。(読) ・根拠を明らかにして、筆者の伝えたいことについて書きまとめている。(読) 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の読みを見直し、筆者の伝えたいことに対する自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを見直し、筆者の伝えたいことに対する自分の考えをまとめる。 ・筆者の伝えたいことに対して、自分の視点を明確にして考えたことを書きまとめている。(読) 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・「平和」について話し合い、これから調べる自分の課題を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の伝えたいことと自分の考えを比べながら、戦争や平和について考え話し合う。 「何のために」「誰に」「どのように」発信するかを決める。 ・「平和のとりでを築く」を読んで学んだことをもとに、自分の考えを発表している。(関) 	
8 ・ 9	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題に沿って、必要な情報を工夫しながら集める。 ・集めた情報について整理したり確かめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べることを具体化してテーマを決める。 ・自分の課題に沿って、本や雑誌、インターネットなどを活用して、必要な情報を集めたり整理したりしている。(書) 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報をもとに、文章の構成を考えながら、自分の考えを書きまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを「仮の要旨」としてまとめ、情報を収集する。 ・自分の要旨に説得力を持たせるために必要な材料を集めている。(書) 	
11		<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報をもとにして、「仮の要旨」を見直し、「確定した要旨」を書く。 ・集めた材料の中から必要なものを選択し、自分の意見が伝わるように組み立てを考えている。(書) 	
12		<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを文章にまとめたり、推敲したりする。 書いたものを発信する。 ・具体的事例と意見、反対意見とそれに対する反論などを、読み手に分かるように書き分けている。(書) 	
ま と	13	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用する上で大切なことやルールを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「インターネットと学習」を読む。 単元で学習してきた内容を振り返る。

め る	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の読み取り、情報の収集、自分の考えの発信という学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用する上で必要なルールを理解している。 ・単元で学習したことに、達成感・満足感を感じたり意味を見いだしたりしている。 (関)
--------	---	---

5 本時の指導

(1)目標

- ・筆者の伝えたいことを考えながら、「平和のとりでを築く」を丁寧に読み取る。

(2)授業仮説

- ・少人数を生かして全員が互いの考えを検討することにより、一人一人の読みや考えが深まる学び合いになるであろう。

(3)展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (少人数を生かした指導)
つ か む 5 分	1 前時のまとめに書いた「筆者は何を伝えなかったのだろうか」について、自分の意見を発表し合う。 2 課題を確認する。 筆者の伝えたいことを読み取ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までにまとめた原爆ドームの歴史から、自分なりに考えた意見を発表させる。
ふ か め る 35 分	3 筆者の伝えたいことを読み、確かめるための観点について話し合う。 筆者の伝えたいことが一番述べられている段落がどこか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・段落と段落とを読み比べる。読み確かめる視点を持つ。 ・段落から筆者の伝えたいことを読み取っていくことを確かめる。 4 段落を丁寧に読み確かめる。 段落を読んで、次の叙述の意味を考え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「戦争は人の心の中に生まれる。」 ・「人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落には題名の「平和のとりでを築く」という表現が出てきていることから、 に重点を置けばよいことに気づかせる。 ・「ユネスコ憲章」とは、世界平和の基本的な約束であることをおさえた上で、引用文の意味を考えさせる。自分の考えをグループで交流する。 ・「人の心の中で」とはどんな心が考えさせる。(自分勝手な想い・相手を打ち負かそうとする心・自己の利益のみを優先する心など) ・「平和のとりで」とは (平和を壊そうとする物から平和を守るもの。どんなとりで(心)が築けるだろう) (評)まとめの段落に着目して、叙述を丁寧に読み取っている。 全員が黒板に自分の考えを書き、学び合う。

	<p>5 読み取った事柄をもとに、筆者の伝えたいことを書きまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた「筆者の伝えたいことについての自分の考え」をもとに、本時の学習を生かして書き加えたりまとめたりする。 ・自分の考えを発表し話し合う。 	<p>(評) 筆者の伝えたいことについて書きまとめている。</p>
<p>まとめる 5分</p>	<p>6 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の自分の学習について振り返る。 <p>7 次時の予告をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意味段落の関係を捉えながら自分の考えを深めることを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で学習したことを確認し、自分の学習を評価する。

(4) 評価規準と具体の評価規準

- ・まとめの段落に着目して、叙述を丁寧に読み取っている。
 - A 「平和のとりでを築く」の意味と関連して、着目する言葉の意味を自分の言葉で分かりやすく説明している。
 - B 着目する言葉の意味を自分の言葉で分かりやすく説明している。
- 「努力を要する児童」への支援
 - 戦争は人の心がどういう気持ちになると起こるのかを考えるように助言する。
- ・筆者の伝えたいことについて書きまとめている。
 - A 文章に基づいて、筆者の伝えたいことについて書きまとめている。
 - B 筆者の伝えたいことについて書きまとめている。
- 「努力を要する児童」への支援
 - 「平和のとりで」とはどのような気持ちを持つことかについて、板書などをもとにおさえさせ、書けるようにする。

(5) 板書計画

平和のとりでを築く

課 筆者の伝えたいことを読み取ろう

筆者は何を伝えたかったのだろうか。

・
・
・

筆者の伝えたいことを読み確かめてみよう。

段落 「記念碑」「なのである」

段落 「世界遺産」「なのだ」

段落を丁寧に読もう。

・「戦争は人の心の中に生まれる」とはどんな意味か。

・「人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とはどんな意味か。

・原爆ドーム＝

人の心に平和のとりでを築くための世界遺産

題名と同じ

筆者の伝えたいことを考え直してみよう

・
・
・